

別記様式第2号

令和 5 年 8 月 1 日

調 査 報 告 書	(会派の場合) 会派の名称																
	代表者氏名																
	(会派以外の場合) 議員氏名 荒井 直彦																
参加議員	<table border="0"> <tr> <td>土佐 洋子</td> <td>議員</td> <td>伊東 圭介</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>議員</td> <td>.....</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>議員</td> <td>.....</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>議員</td> <td>.....</td> <td>議員</td> </tr> </table>	土佐 洋子	議員	伊東 圭介	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
土佐 洋子	議員	伊東 圭介	議員														
.....	議員	議員														
.....	議員	議員														
.....	議員	議員														
日 程	令和 5 年 7 月 11 日 (火) ～ 令和 5 年 7 月 14 日 (金)																
視 察 先	(1) 沖縄県竹富町議会 (2) 竹富町小浜島複合型福祉施設 (3) 沖縄県中城村議会																
視察目的 (項目)	(1) 竹富町議会議長表敬訪問・竹富海洋教育・町制 75 周年事業 (2) 子育て環境及び高齢者福祉拠点施設整備 (3) コミュニティバス (護佐丸バス)																
【調査内容・概要】沖縄県竹富町																	
<p>竹富町は、琉球列島の最南端八重山郡に属し、石垣島の南西に点在する 16 の島々 (有人島 9 つ、無人島 7 つ) から構成され、総面積 334.02 平方キロメートル、東西約 42 キロメートル、南北 40 キロメートルの広範囲に及び、町役場を八重山経済の中心地である、竹富町の町外である離島ターミナルのハブ港のある石垣市に置く、珍しい行政形態となっています。</p> <p>・竹富町海洋教育への取り組み</p> <p>自治体として日本で初めて「竹富町海洋基本計画」を策定。全国に先駆ける計画に基づく各種施策の実行は、海洋環境の保全や離島苦の克服等に関わる成果を着実に上げている。一方、新石垣空港の開港等に伴う観光客の増加、西表島の世界自然遺産登録への動向、日本最大のサンゴ礁である石西礁湖の環境変化、周辺海域で高まる緊張などに代表されるように、町をとりまく情勢はダイナミックに変容しています。</p> <p>このような各種の情勢に即応し、また、我が国の領海等の根拠となる国境離島を有する竹富町の役割を踏まえ、海洋に育まれた貴重な大自然と文化の次代への継承、より良い生活環境の実現、国境離島地域の保全等を主な目的とする「第 2 次竹</p>																	

富町海洋基本計画」を策定されました。

【美ら海とともに生きる町・新たな発展と海洋立国への貢献】を理念とし、主要テーマは5つあります。

- ① 亜熱帯海域と島々の大自然及び豊かな生物多様性を育む貴重な生態系を保存する
- ② 島々の離島苦を克服し、災害に強い安全・安心な生活環境を実現する
- ③ 海洋及び島々の資源と特性を活かした産業振興を推進する
- ④ 町民が守り、育む伝統文化や景観を次世代に継承する
- ⑤ 国境離島地域の保全と振興を推進する

これらのテーマにはそれぞれの施策があり、沖縄県、八重山警察署・石垣島と与那国島とそれぞれの住民及び関連事業者の地域行政、住民及び事業者との連携・協力。また、内閣府総合海洋制作推進事業局や内閣府沖縄総合事務局、環境省、海上保安庁の関係行政機関の支援を受け、協働で実施をしていく。

「第2次竹富町海洋基本計画」は、美ら海とともに生きる竹富町が新たな発展をめざし、海洋立国に貢献するためのビジョンです。

笹川財団より3年間、年間1000万円の補助を受け、「海洋教育パイオニースクールプログラム」に参加し竹富町教育副読本を刊行し、海洋教育の持続可能な独自の取り組みを目指すものです。

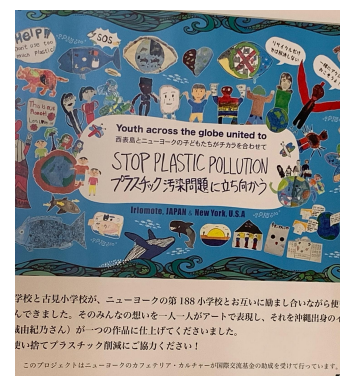
西表島の上原小学校と古見小学校が、ニューヨークの第188小学校とお互いに励まし合いながら、使い捨てプラスチック削減に取り組んできたそうです。児童たちみんなの思いを1人ひとりがアートで表現し、それを沖縄県出身のイラストレーターのPokke104さん（池城由紀乃さん）が1つの作品に仕上げ、役場庁舎や離島ターミナルに展示されています。隔ての海を、未来につながる結びの海へ！ Youth across the globe united to STOP PLASTIC POLLUTION プラスチック汚染問題に立ち向かう ととても素敵な取り組みです。

ぜひ葉山町でも海洋基本計画のような、海洋教育の持続可能な独自の取り組みや、児童生徒による海を通して世界は1つに繋がっていることを実感できる教育・施策ができればと思います。

土佐洋子記



大久研一議長と議場にて



・竹富町は、我が国最大のサンゴ礁群である石西礁湖の海と西表島の山河など亜熱帯の雄大な自然環境に恵まれ、東西 42 km、南北 40 km の広範囲に点在する 16 の島々からなる町です。世界に誇る類まれな自然環境や伝統文化、そして何よりも島々で暮らす人々が貴重な財産であります。日本最南端の町として、日本の排他的経済水域に寄与するなど、地理的にも重要な位置にある特徴的な町であります。

◎竹富町の海洋教育について

海洋教育の取り組みの経緯については、H23 年に自治体として日本初の「竹富町海洋基本計画」を策定し、その後 H30 年に第 2 次「竹富町海洋基本計画」を策定する中で R1 年に日本財団の補助を受け、「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に参加し、海洋教育をスタートさせたとのことでした。R2 年には、「海洋教育基本計画」を策定し、「海洋教育副読本」も発刊したそうです。

竹富町の海洋教育は、海の自然や文化と人との共生を目標に以下の 4 つの柱で構成されています。

① 海に親しむ

身近な海の豊かな自然や文化、地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感性や海に対する関心等を培い、海の自然や文化に親しみ、進んで関わろうとする幼児・児童・生徒を育成する。

② 海を知る

海の自然や文化、資源、人との深い関わり等について関心を持ち、理解を深めるために進んで調べようとする幼児・児童・生徒を育成する。

③ 海を守る

海の環境や文化について調べる活動や保全運動などの体験、伝統行事などへの参加を通して、その保全に主体的に関わろうとする幼児・児童・生徒を育成する。

④ 海を活用する

身近な海と暮らし（衣食住、産業、交通、伝統文化など）の関わりや、海を通じた世界の人々との結びつきについて学ぶことを通して、それらを持続的に活用しようとする幼児・児童・生徒を育成する。

葉山町も海のある町として海洋教育の考え方を小中学校の教育プログラムに取り入れるべきと考えます。温暖化やマイクロプラスチック問題等の環境教育にもつながる取り組みだと思えます。

伊東圭介記

・町制施行 75 周年記念事業

タイムリーなことに、視察に訪れた 1 週間前に 75 周年記念事業が実施されました。昭和 23 年 7 月 2 日に町制施行を開始して以来、町民の皆さまが幾多の困難に立ち向かい、島々の均衡ある発展と大自然と伝統文化を大切に豊かで活力あふれるまちづくりを築き 75 周年を迎え、西表島にある「わいわいホール」にて記念式典が行われたそうです。島々を結ぶ定期船がないため、チャーター船での移動となったそ

うです。町制施行 50 周年のときに埋めたタイムカプセルを開封したことも伺いました。今回は 75 周年ということで記念式典のみの実施で、5 年後の 80 周年には町民のみなさまとお祝いをしたいとのことです。葉山町では間もなく町制施行 100 周年です。ぜひ町民のみなさまとともにお祝いできる機運を高めていきたいと思えます。

土佐洋子記



・小浜複合型福祉施設

石垣島の離島ターミナルから小浜島までフェリーで 30 分。かねてより友人である大久研一議長は生まれも育ちも小浜島で、この島より議長が選出されたのは 42 年ぶりとのことです。こちらの複合施設には「通所介護施設くまま」と「小浜島保育園」が併設しています。「くまま」zとは方言で小浜島のことです。

建物は鉄筋コンクリート造の平屋でふんだんに木材が使われており、窓からは波照間島を望むこともできます。小浜島での質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども子育て支援事業を計画的に実施し、地域で暮らす高齢者等ができる限り住み慣れた地域において自立した生活が送れるよう支援していくために「複合型福祉施設」を整備し、子育て環境及び高齢者福祉拠点を整えています。

こちらに通所する 99 歳のおばあは「徹子の部屋」などのメディアにも出たことのある「天国に 1 番近いアイドル」と呼ばれ、さまざまなところに引っ張りだこで、「オジー自慢のオリオンビール」を一緒に踊らせていただきました。コロナや風邪の流行もあり、保育園の子どもたちとの交流は行えていないということが残念でした。施設の建設には国から補助金が 8 割出ているそうです。ぜひこのような複合施設を葉山町でも、お互いの福祉向上のためにできればと思います。

土佐洋子記

その他の現地踏査

- ・畜産担い手育成総合事業
- ・竹富町小浜島細崎防災施設
- ・小浜島のメインの農業であるサトウキビ

(大久研一議長に説明を受ける➡)





≪「天国に1番近いアイドル」
「通所介護施設くまま」に通う
99歳のおばあ
畜産担い手育成総合事業で、➡
牧場に国と県から半分の補助が出る。
子牛は佐賀や鹿児島へ。子牛の価格は72万円から40万円と急落してしまっているそうです。



・沖縄県中城村 コミュニティバス（護佐丸バス）

中城村は、沖縄本島中南部のほぼ真ん中に位置し、那覇からおおよそ15km圏内にある村。2000年に「琉球王国の城及び関連遺産群」として世界遺産群」として、世界文化遺産に登録された中城城跡を有していて、ここ10年、国勢調査において全国でもトップクラスの人口増加率となっている。

*平成22年に人口 15,840人→ 令和2年21,397人に増加

視察項目のコミュニティバス（護佐丸）について（詳細は 添付資料参照）

村の地形的にて低地部、斜面部、台地部から形成され、標高差が150m以上あるなど交通弱者にとって行きしづらい地勢である。その為、平成27年度から運行が開始され、現在に至る。バスは2台購入している。

運行経費は 一般財源からで毎年、マイナス状態が続いている。

*土日祝日、慰霊の日、学校の夏休み、冬休み、春休みは、運休している。

日本でも人口増加率が高いと伺いました。その要因では、沖縄県で初の

1年から3年まで15人学級を実施していることが判明しました。残念ながら財源不足の関係で、この事業を継続することができなくなることになったそうです。

葉山町でもこの交通弱者の問題がある。 今後も継続的に研究して、ハードルは高いが、導入に向けて検討すべき課題と思います。 荒井直彦記

・中城村は、沖縄本島の真ん中に（西原町・宜野湾市・北中城村に隣接）位置した緑に覆われた丘陵地と太平洋に面した平坦地からなる地形となっており、自然豊かな地域です。人口増が全国トップクラスになっているそうです（22,000人）。要因は、子育て施策の充実や新たな宅地開発や病院誘致等だと考えられます。

◎コミュニティバス（護佐丸バス）について

導入の経緯は、地形的に低地部、斜面部、台地部からなっており、標高差が150m以上あるなど交通弱者にとって行き来しづらい地勢となっています。また、民間路線バスの系統及び便数も減少してきており、公共交通の空白地帯における学生や高齢者といった交通弱者の移動手段として、平成27年度からコミュニティバスを運

行っているそうです。

バスの料金については、一律、200 円/回です。小学生 50 円、中学生・高齢者・障がい者は、100 円と割引料金を設定しています。定期券は、無く回数券を 50 枚綴りで区分ごとに販売しているそうです。

2 台のバスで 4 系統の路線を運航しており、主に高校生の通学と町内循環の 2 系統づつになっているそうです。民間のバス会社に運行を委託しており、令和 4 年度の維持管理経費は、23,761,881 円だそうです。運賃収入は、7,780,810 円で 1600 万円程度の持ち出しになっています。

利用者からは、運行時間帯の拡充、便数の増便、バス停の増設、ルートの見直しなどの要望も出ているとのことでした。

葉山町も現在、地域公共交通計画策定に向け検討中であるが交通不便地の解消、高齢化対策、子育て支援、観光客の利便向上等の面からも積極的に導入を検討すべき施策であると考えます。

伊東圭介記



その他の現地踏査

- ・ 日本最強の城跡に選ばれている中城城跡
 - ・ 御用邸友好都市を締結した下田市の前に
- ペリー提督率いる艦隊は中城を訪れている

MAP ③
おすすめ3 **ペリーの旗立岩** **村指定文化財**

1853年5月アメリカのペリー提督率いる艦隊は、日本へ開国を求める航海の途中で琉球に寄港しています。沖縄島の内陸部を調査するため奥地探検隊を編成し、那覇から中北部まで足を運んだ一行は、中城ハンタ道の途中で奇妙な形の大岩に遭遇し、岩の頂上に旗を立て、岩山征服を記念し祝砲を撃ちました。そして、この岩に「旗岩 (Banner Rock)」と名付けました。岩山周辺で過ごした休憩時間に調査隊のハイネが描いたスケッチが残されており、当時の様子を知ることができます。現在と当時のかわらぬ風景を見比べてみましょう!!

A historical sketch of a rocky landscape with a flag on top. The sketch is in black and white and shows a large, dark rock formation with a flag flying from the top. The background is a hazy, mountainous landscape.